

## 第4回国立国会図書館契約等監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成30年5月28日(月)14時～16時 国立国会図書館総務課第二会議室	
委員長及び委員	委員長 山本 清 (鎌倉女子大学学術研究所教授) 委員 石田 晴美 (文教大学経営学部教授、公認会計士) 委員 稲垣 隆一 (弁護士) 委員 富山 正次 (公認会計士)	
審議対象契約期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日	
指名停止の運用状況	指名停止なし	
抽出案件(件)	5	(備考) 案件総数266件
競争入札(物品役務)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約件名: 国立国会図書館東京本館における図書館資料の出納等作業1式</li> <li>・契約相手方: 日本通運株式会社東京バイエリア支店</li> <li>・契約金額: 290,520,000円</li> <li>・契約締結日: 平成29年4月3日</li> <li>・担当部局: 総務部会計課</li> </ul>
競争入札(物品役務)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約件名: 情報探索サービスシステムの改修及び保守1式</li> <li>・契約相手方: 住友電設株式会社</li> <li>・契約金額: 297,077,760円</li> <li>・契約締結日: 平成29年4月3日</li> <li>・担当部局: 総務部会計課</li> </ul>
競争入札(物品役務)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約件名: Wiley Online Library (その1: 平成30年1月1日～3月31日)の利用1式</li> <li>・契約相手方: 丸善雄松堂株式会社大阪支店</li> <li>・契約金額: 20,898,559円</li> <li>・契約締結日: 平成29年11月27日</li> <li>・担当部局: 関西館収集整理課</li> </ul>
随意契約(物品役務)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約件名: 統合図書館パッケージALEPHの保守1式</li> <li>・契約相手方: Ex libris Ltd.</li> <li>・契約金額: 668,446USD</li> <li>・契約締結日: 平成29年4月3日</li> <li>・担当部局: 総務部会計課</li> </ul>
随意契約(物品役務)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約件名: 電子ジャーナル「ScienceDirect」の利用</li> <li>・契約相手方: エルゼビア・ビー・ブイ</li> <li>・契約金額: 340,654,220円</li> <li>・契約締結日: 平成29年4月3日</li> <li>・担当部局: 関西館収集整理課</li> </ul>
館長指定案件	平成29年度一般会計監査報告	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告	なし	

## 別紙

主な意見・質問	回答等
<p><b>【全般】</b></p> <p>契約書で定めている損害賠償条項は、責任分担をより明確にすべく、再点検しておく必要があるのではないか。</p>	<p>他省庁の例なども情報収集しつつ、検討したい。</p>
<p><b>【国立国会図書館東京本館における図書館資料の出納等作業1式】</b></p> <p>調達方法を検討する際は、価格の適正性のみならず、会計法の範囲において、競争環境の育成という視点も必要ではないか。</p> <p>予定価格算定の際は、作業者の習熟度等を考慮するなど、可能な範囲で実態にあわせるよう努めるべきではないか。</p> <p>仕様書には、担保するサービスの質をより明確にする必要があるのではないか。</p>	<p>貴重な参考意見として承りたい。今後の調達動向も踏まえつつ、公正かつ適正な調達の実施に向け、引き続き取り組んでいく。</p>
<p><b>【情報探索サービスシステムの改修及び保守1式】</b></p> <p>同じ業者による1者入札が続いているが、今後、どのように改善していくのか。</p>	<p>本件に限らず、1者入札の継続案件に関しては、業者へのヒアリング実施、公告期間の確保、参加要件や仕様の見直し等の取組を継続して進めていく。そもそも複数者の入札参加が困難な案件は、契約方式自体の見直しも含め検討したい。</p>
<p><b>【電子ジャーナル「ScienceDirect」の利用】</b></p> <p>高価な電子ジャーナル等の調達の際には、国内外の図書館や大学等との情報交換や連携が必要と思われる。そのために、国立国会図書館がリーダーシップを発揮すべきではないか。</p>	<p>国内外の動向も踏まえて、今後、当館として何ができるのか、考えていきたい。</p>